

一日一日が実を結ぶ

学 園 長 小 島 澄 人



毎年繰り返される卒園、毎年一年のすべてを思い出し、喜びに浸る。新しい子どもたちを迎える準備、ワクワクと楽しみがわいてくる。最後の最後まで、3月31日まで、幼稚園児だった、あの子が一年生になる、大変なことです。送り出す喜びと迎える喜びを一緒に味わう日が来ました。

一年を振り返る、それもあれもみんな積み重なったの1年です。その一つ一つが子どもたちを大きくしました。同年代が一つに集まって、家庭を離れて生活をしていく、そのすべてが学びでした。元気がないと、「おはよう」と声をかけてきた先生たち、「あそぼ」と寄ってきたお友だち、毎日毎日送り迎えを当たり前のように行ってきたお母さん、お父さん、1年が終わります、本当にありがとうございました。

日本の四季は本当にありがたい。春に向けてすべてがすくすくと育ち、開花する、自然の崇高な繰り返しの中、私たちの子育ても毎年繰り返されて、3月31日を迎えます。過去の1年を大切に、次の1年に期待します。畑にもジャガイモが植えられ、土の中でりっぱに芽を出しています。あんずの花もりっぱに咲いています。ツチガエルも春の産卵を終え、どこかに消え去ろうとしています。山の竹林ではしっかりとおいしいタケノコが育っています。子どもたちは一年生にと旅立ちし、また在園児は一学年進級します。新たな子どもたちがまた待っています。こうした毎年の繰り返しの直面できる自分にも感謝です。皆さんに感謝です。

令和5年度、期待していきましょう。活気ある楽しい1年になりますように。

